

免 御



御用御藥調合所

平安

岡卯玄游



虚弱補益龍髯丹

きよくやくわあつりやうせん

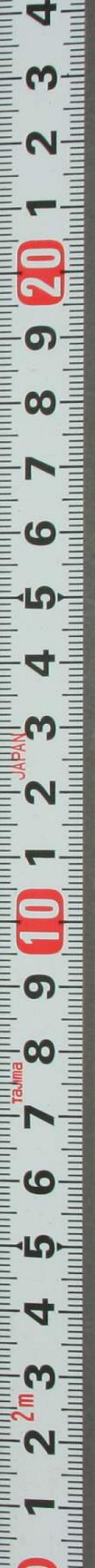
諸國元弘方

米澤屋善三郎

越後一日市



西垣文庫  
文庫10  
6494



天保10  
6494

# 王治

病氣の根子能く治す能く此能く者合の  
百病中不愈といふ事あり

氣虛 文字云流水不腐者以其行也戸樞不蠹以其運也

於人身亦然氣血順環則何病乎生焉矣氣血留滯則百病

係焉諸症出焉二都繁華之地勿論世人萬事心勞思業

夫之凝肝膽之摧心理之積勞氣勞とある客者又と不

思子身小あまの大事起る時ハ明智大才の人とあども自然志氣

諸臟疲弱く内損勞役の大病とある病の軽重小應ト此煉美と

官許公文之寫

割印

第千四百十八号

埼玉縣武藏國入間郡  
南田嶋村四拾番地

田嶋傳吾

蠲蟲圓

右免許候事

明治十九年  
六月一日

内務省

御印

兼用と

又ハ思案工夫

心氣と

奇々妙々

臟六腑皆

殊子婦人

子用して神妙

常此煉美と服用ハ精血と益と其功百兼勝と老眼虚眼内瘻或ハ

# 王治

此病氣の根子能く治す此能く治す者合の  
百病百中不愈といふ事なり

## 氣虛

文子云流水不腐者以其行也戸樞不蠹以其運也

於人身亦然氣血順環則何病乎生焉矣氣血留滯則百病

係焉諸症出焉云都繁華之地勿論世人萬事心勞思業

夫之凝肝膽之摧心理之積勞氣勞之客客又之不

思子身小亦有大事起時明智大才の人とも自然心氣

諸臟疲弱内損勞役の大病とある病の軽重小應此煉養を

そのはる用ゆるゆるの難症も治せむといふ事

不足心必養の功を修る少くも心をひ有り又思案工夫

有時の常此養を服用心氣を助ぐゆる心氣を

つるもの決心氣の疲る直用試奇を妙々

## 血虛

凡血之在身者猶地之有水也血虛則五臟六腑皆

失和故ニ男女之差別なく血の虚さるる小を殊に婦人

産後子氣血不調時熱有腹痛大便下羸衰るる症子用て神妙

常此煉養を服用精血を益其功百養を勝る老眼虚眼内瘻或ハ

常子盜汗盗汗あり其病の根元根元の血血の不足不足より起起る因因こ此此美美と餌餌

美美より用用く血血と益益補補ふ時時の自然自然より兩眼兩眼明朗明朗はく帰帰人のつと夜夜の

明明らぶど又又男男の血虚血虚の腎虚腎虚異異らぶど終終る天圻天圻及及ずの皆血皆血の不

足足より起起るもの必必若氣若氣の誤誤る此神丹此神丹と服用服用く油断油断せざる専専心心

腎虚腎虚扁鵲扁鵲曰曰骨純骨純不治不治又又刪繁論刪繁論曰曰凡骨極者凡骨極者主腎也主腎也腎

骨骨小應小應ぶるもの腎水腎水少少き時時の必必長壽長壽と保保つとは故故こ此臟此臟の

性命性命の根元根元こ此臟虚此臟虚る虚火虚火尤尤逆上逆上強く身躰身躰潤澤潤澤る物物退

屈屈く魂氣魂氣薄薄く自然自然短命短命と成成る凡身躰凡身躰の陰陽陰陽の二二全備全備る病病の

起起るとは然然る也也房事房事を漫漫らする故故こ陰氣陰氣不足不足く陽氣陽氣養養り自

然然腎水腎水と減減る手の内口手の内口の裏煩熱裏煩熱或或は咳嗽咳嗽眩暈眩暈頭痛頭痛或或は腰膝

疼力疼力を又又遺精遺精腎水腎水の覺覺る又又は脘傍脘傍切痛切痛皆皆是是水火水火の二二不全不全故故こ又又生

るがら腎腎の臟弱臟弱きもの腎腎房事房事の不行不行とも自然自然心火心火尤尤と百

端端の病病と生生頭元頭元齒痛齒痛と常常小此小此未未と用用く補養補養長長く男女男女限限らず

腎水腎水之之るれ心火心火脾脾と進進自然自然脾中脾中虫虫と生生常常腹内腹内心持心持悪悪時時く

切痛切痛く羊羊皮皮く未未愈愈もの如如此此症症用用る半半年年はく不治不治とのるは

脾虚脾虚大成論大成論曰曰人身人身之之脾胃脾胃容納容納五穀五穀而而尅化尅化之之とあり脾

脾虚

大成論曰人身之脾胃容納五穀而尅化之とあり脾

乃五臟の本は脾虚は五臟共修とあり常々飲食痞食物は味  
 顔色次第衰微大便ゆる下症は用く如神尤老人小兒此症は深  
 く思まて油断なく餌菜は用く又夜初の食は傷り又能食ても羸衰  
 胸膈痞塞痛腹中不快用く神妙は泄瀉秘結は用くは泄瀉は脾胃和  
 せど二便の分利せざらざるは秘結は脾胃不調運行由り潤沢はすま  
 けり故に脾胃を調まて二便の程は快く通まると世に五更泄とよ  
 症あり此症は曉天方小至るは俄に腹痛下利とあり此は用く功能尤  
 調理 老子曰人生大限百年節護者可至千歳とあり故に養

生は不怠自然の天年と長く保て譬煩とも火急の病夫の治方有  
 て其難の遠るゝとも病後の調不届く又種々の悪症を招めぬ傷  
 寒痢病又の産後其外何病もよらむは煩ひ元氣衰肥立遅く  
 ざらくとしと不愈症多しありもの如此症は用く物身潤沢を  
 生じ手足力づくとも妙あり平生此靈圖を用く修養する時の五臟  
 六腑を調ひ気血を順還し身軀壯健は生涯無病安全なり  
 △服法 養目三夜 女 女 女 程宛書 三度夜一度用くは又平生養生の餌菜  
 中の二夜程宛書 二度夜一度白湯中へは服用可成

靈藥價百廿目八十五文六目七文券三百目三文七分五厘十五文八分

此龍影丹の我先祖昔年肥前

長崎の雲遊の時後朝鮮人相傳

わく施美小のりるの救百年抑此各

方々の世人の知所幸ひ近頃

上々様以上聞は達法用を仰付ひ

謹く制法仕奉差上り所実子

漢子稀成妙劑哉と遠慶義の論

言則蒙菊紋法免々の生前の言

不遇之今也濟生の二助ともあり

と極上兼種精選仕聊の料と定め

世に私事云尔

賣弘所

京都三条通富之小路上

近江屋新助

江戸本町三丁目

伊勢屋宇兵衛

大坂難波橋節

丸屋吉兵衛

尾州名古屋大傳馬町

藤倉屋長六

肥前長崎西大町

船屋安兵衛

上州高崎田町

後閑弥兵衛

越後國大取次所新潟全三町 高見定左衛門

同 國大取次所長岡表二町 與板屋清兵衛

同取次所小谷中町中屋庄右衛門 同取次所 新藤上町早通屋兵左衛門

同 下片貫宿越前屋仁右衛門 同 沼見道野高田屋儀八

同 下今町 雀屋松右衛門 同 中條町 船戸屋幸助

同 三條下町 鍵屋新藏 同 村上町 瀨浪屋彦助

同 加茂本町 中村屋孫治右衛門 同 岩船下町 佐渡屋伊右衛門

同 鷺町 大和屋七右衛門 同 葛塚町 米田屋治助

同 村松上町 龜屋小兵衛 同 龜田町 香具屋曾兵衛

同 五泉町 松木屋佐兵衛 同 新津町 越中屋幸右衛門

取次所 底は日本國中津、浦、前、後、是、載、と

同	枳尾町 丹波屋佐右衛門	同	大野町 太倉屋五右衛門
同	白根中町 井筒屋徳右衛門	同	卷町 松屋又兵衛
同	吉田町 富屋佐右衛門	同	曾根町 松屋又兵衛
同	地藏堂 小川伊右衛門	同	古町三町 田畑屋平六
同	柏崎下町 植木三左衛門	同	塩澤宿 扇屋與三右衛門
同	高田町 長谷川屋金左衛門	同	水原町 和泉屋類八